



加藤
芳郎

井上
ひさし

山藤
二

週刊朝日編

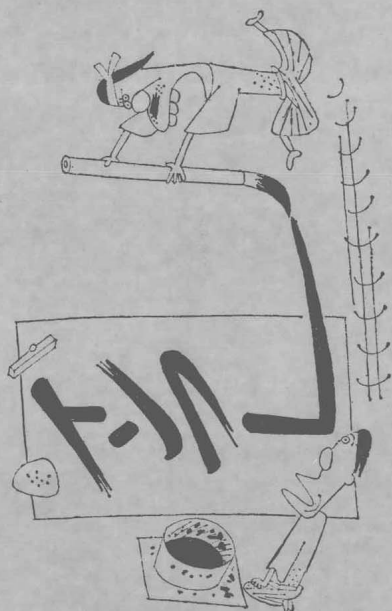
週刊朝日編

YAMA
Fuji
7/3

サイマル出版会



トップ魔



たあーツ
——新春大書道「今年を書く」
加藤 芳郎

狐狸狐狸日本 (井上ひさし、加藤芳郎、山藤章二) 週刊朝日編

© The Asahi Shimbun

THE SIMUL PRESS, INC. 無断転載を禁ず

(発行所) 株式会社 サイマル出版会

発行人/村松増美 編集人/田村勝夫
東京都港区赤坂1-11-45興和第3ビル(〒107)
電話 (03)582-4221(代)/振替・東京52090番
印刷・製本 凸版印刷株式会社

1973年 Printed in Japan <0395-040323-2703>

加藤芳郎の風刺作品・ポップ魔

- あつまたあノ(四) 立札(七) バンダ走った目(九) 暗躍するハ
クサイ投機師(二) 遊説(二四) 古墳土器発掘(二七) またま
た壁画古墳(二〇) 5・15アピール(三二) カラクリ(三七) シ
ーズン(三九) ガンバラなくっちゃ(三二) 新春寒々大会(三五)
秋の夜長(三七) 横井さま(四三) 祈・日中正常化達成(四七) 学
歴(四九) 気力相撲(五三) 変身ばやり(五四) 正気と狂気(五八)
特訓(六一) ポップ魔新聞(六三) ヌーティスト島異変(六七) 復活
(六九) 廃油ボール(七五) 最後の追いこみ(七九) 冬眠男のぼや
き(八三) 鼻毛ののび率・展(八八) 記念イレズミ(九二) 反セ
ン泣き泣きショー(九四) 選挙戦たけなわ(九六) 絵ブーム(九九)
・凶悪悪臭グループ・逮捕(一〇五) 軽井沢シモヤケ(一〇六) 11
・19留置の同居人(一〇八) 贖作CM(二三) 災難(二九) 太平
踊り(二三) モーレッツ・レジャー監視班(三二) どうだか
……?(三三) 重病人(三五) リトル・ニュース(三八) 鉄パイ
プ爆弾(四〇) 霊界人間登場(四三) ややくしい(四八) 力士
今昔(五三) 予想はずれ(五六) こりゃタヌキ(五九) 食いにげ
だーッ!(六一) 戦争続行中(六六) 機密特使(七三) 転業(七五)
自主規制(八三) カミナリ御難(八五) 養老院めぐり(八九)

山藤章二のカラー傑作選

- 1 現存する最大のタカ・ニクソン
- 2 横井庄一「はずかしながらふとって参りました」
- 3 羽仁流放任主義、わが世を謳歌
- 4 一心団体になった？ 角さん周さん
- 5 貴輪^{キリン}ブームにパンダもビックリ
- 6 頼みごとはゴッドファーザーへ
- 7 ドレミファ直訴・小沢征爾
- 8 大和なでしこ屋！ 玉三郎

ことば・言葉・コトバ…… 《目》氏の名解説

- 戦争(三) 新全総(六) 乱セ(二〇) 子ども(二二) じんべい(二三)
なくっちゃ(二五) 木賃アパート(二六) 若き(一九) 情を通ず
(三六) ございやす(三〇) 正念場(三三) 線引き(三三) 春三番
(三八) 糧秣(四二) 出発(四三) 匹夫の勇(四五) 一衣帯水(四
六) 総花(四八) 借物小説(五〇) ノーデー(六〇) 立居振舞(六
五) 遺憾(六八) ナウ(七三) レッカー車(七七) イメージ選挙
(七八) 仏頂面(八三) エンキリ(八七) 立身出世(八九) 背水の陣
(九五) 三極構造(九七) サイド・ビジネス(一〇〇) リンチ(一〇四)
瘦学(一一〇) 男がすたる(一二四) 普通米(一二七) キッチュ(一三三)
ご意見番(一三五) 舶来(一三九) 初歩的ミス(一三三) いはばしる
(一二四) 合格になる(一二七) 青田買い(一三九) 子連れ(一四五)
浮気(一四七) フラサー制度(一四九) ファック(一五二) 肩代り(一五
五) バイコロジ(一六三) 脱……(一六四) ドロコロジ(一六五)
変身(一七四) キャンバス(一七六) ジョージ(一八三) テロ(一八六)
方円の器(一八七) パーカ(一八八) チョトマテクダサイ(一九〇)

狐狸狐狸日本・目録

装幀・カット／山藤章二

井上ひさしの日本風刺作品・ニユースソング集

1 なべてすぎたる日の本は……………一

じつに日本という国は／なべてすぎたる日の本は／東京ブラッ
ク報告／それでも買ひハブ／バング商魂／高嶺のキャベツ／母
に捧げる詩／ルバング島へのアビール／遺産ジャンボ化／昭和
式住居／恍惚・後日譚／沖繩復帰・門づくし／地震過剰

2 だれが狐か狸やら……………三

夫の値段／お子さま化粧品ブーム／極秘ソング／ゲップワルツ
／犬の喧嘩で裁判された／小指の思い出／シーソーゲーム／土地
成金殿へ／鳥栖市の中学校で競馬教育／お馬の親子／諸行無情
／交番こわい／キュウリの一策

3 はずかしながら庄一は……………元

はずかしながら／悩める父親／往復はがき／鶴岡駅のツバメ追
放／三島判決に寄せた長詞／角さん、水くさい／課長は窓口に
と首相指令／読書の秋／只今禁煙中／三味線エレジー／豪華な
容器／カネさまのNHK

4 ガツポガツポガツポ！……………五

クスリ横ヤリ／もぐり健康診断社／渡り鳥官僚天国／ネコババ
聖僧／色盲タクシー／通る通さぬ神奈川通り／乱チョウ節／居
直り正直／医は忍術／職人氣質／脱税草月流／のぞき魔失神／
生きた監察日記／口害始末記／コウリ商いいたします／さかさ
ま歌手

5 こんど生まれてくるときは……………七

モダン大敵／新・鉄道唱歌／アサリ貝にカドミウム／記念写真
／どうす米価／欠陥警官／パンダに罪はないけれど／野党共闘
小唄／銭湯ついに値上げ／大都市カイギ／乗取り顛末記／音上
げの季節

6 ああジャパンダ！……………八

今年の色は黄信号／一億総お勉強／仁保裁判長恨歌／タイの反
日不買運動／ああジャパンダ！／イヤンリング／校庭で運転練
習の女教師、生徒をはねる／ベトナム戦車輸送／子は親に似て

／解散風邪にご用心／三角関係／ブーム・のブーム／狂闘／
電話台数世界二位へ

7 かわればかわる人の道……………101

バチンコ心、母心／庶民の心配／連合赤軍事件／今様八百屋お
七／あな恐ろしや／PCBサンド／近鉄から中国へ感謝をこめ
て／イタイイタイ病訴訟勝つ／バイキング料理／コーラの言い
分／菌割り／ノー産休／男はつらいよ

8 ヒトコロジ―……………115

お米に通信簿／災害輪廻／モウカルタント／いい加減にしなよ
／ウソつきの素／とんだ迷惑／盗迷高速／NHKは雷さま？／
新幹線に寝台車／乱グラス／チョコウまのチョコ高／愛党行進
曲／八十歳以上の老人の葬儀代は市で負担／ココマツチャウナー

9 さいがい住むと人のいう……………117

米国式育児法／ナムハチマンダイボサツ／迫真のカラー／セス
ナ代参ノ／空のミステリ／PCBを分解すれば／絶妙の味つけ
／家電メーカーに深謝／すえ恐ろし／交番御難／さいがい住む
と人のいう／さむけ統々

10 さても奇妙なご時世じや……………118

子連れ強盗／臣の道／スマンの会／母と子の未来学／郵便局員

考／フンガイ／ニクイ肉／日活ボルノ事件／中学生無頼／白い星・黒い星／現代子守り唄／つらい有名人／巡查長ノミ屋ノ開業／日フィルに危機がきて

11 マグロ・オン・ザ・ライス ……………一七〇

NHKに冗談は禁物／札幌オリンピックの総括／ヒラ役人の長生き／ローリングストーンズとは／東京の緑があと五十年で死滅／脱退劇上演中／電話局「ん」という店名は電話帳に載せられぬと返答／史上最高の中元商戦、笑いのとまらぬテバート／太平洋を飛ぶ冷蔵庫／泥棒諸氏へ／総選挙わらべ唄

12 変心、変身、このヘンシーン！ ……………一六一

多欠経営／総会士の総会／七利ヶ浜／鉄道弘済会でレコードも／バンク・ホテル／ヘエ、そうけえ／泥棒さまさま／四次防活用法

13 備えなくして憂いあり ……………一七九

東海の……／カンカンガクガク／新宿見本市／總裁ダービーノ光化学スモッグ考／迷路迷路日本／ゲリラも輸出しますノ速首脳へ田中親書／養老院へ行く人は／備えなくして憂いあり

1 なべてすぎたる日の本は



じつに日本という国は

じつに日本という国は

かくかく

□□の多い国

恥□平気は候補者で

中□すなわち中核で

□○すなわち革マルで

内□すなわち内閣で

□栄もちろん角栄で

□新これは革新で

□界すなわち各界で

□界いずれも□だらけ

□ばかりなる日本は

やはり○くは治まるまい

ことば

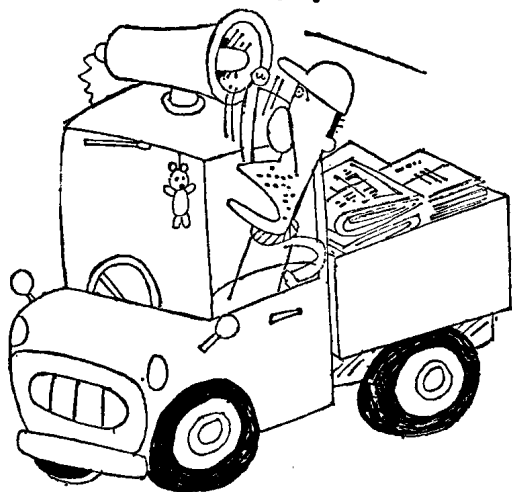
戦争

「交通戦争」に「ゴミ戦争」。テパートの「商戦」。「戦争」ということばのはんらんである。疲れていると、よほどぎついことばでないと感じない。だから、「戦争」ということばが流行するのだ、という説がある。それに「交通地獄」だと、どうにもならない運命みたいな感じだが、「交通戦争」なら、立上ればどうにかなるように聞えて、カッコいいというのである。が、こうも考えられないか。浦和市の母親たちが自力で作った保育園に「こどものとりで」と名づけた。ここには周囲が敵だらけという発想がある。かく世の中を敵視する風潮が「戦争」ということばをはやらせている、と。

(目)

ポップ魔

せんきよ
公約と
千リ紙
交換



加藤三郎

あっ またあ!

——選挙用に貸出すと、そのあと必ずマイクの調子がおかしくなるんだ!

なべてすぎたる日の本は

医者は盲腸を切りすぎる

六割以上が不必要だとか……

そういえば政治家札幌切りすぎる

警視庁はボルノ映画を切りすぎる

林野庁は山の木を切りすぎる

不動産屋は国土を切りすぎる

役人は空手形を切りすぎる

テレビは馬鹿をやりすぎる

国鉄は事故が多すぎる

国土に雨が降りすぎる

そして堤防はもろすぎる

与党に派閥がありすぎる

野党にやる気がなさすぎる

やたらに公害がありすぎる

むやみに物価が上がりすぎる

この半年事件が起りすぎる

すぎる！　すぎる！　すぎる！

なべてすぎたる日の本は

すぎて及ばぬ国柄ぞ

東京ブラック報告

ある朝 新聞ひろげたら
大きな活字でこうあった

「あッ、東京にまだ昆虫がいた！」

それを眺めて思うのは

数十年後の地方紙の

大きな活字の見出しです

「あッ、東京にまだ人間がいた！」

ことば

新全総

これを見てもすぐ「新全国総合開発計画」の略称だとわかるのは、よほどの政治通だ。おなじ略称でも「中教審」は教育の「教」が入っているし、「四次防」も防衛の「防」があるから、まだ見当がつきやすい。「新全総」では、肝心の「開発」抜きだから難解だ。

「開発」抜きでは、開発する気がないようにみえたのか、こんどは「日本列島改造問題調査会」という諮問機関が誕生した。だが、これもまた略称ができるのは必至。「日列改」とでもなったら、まるで仏教用語ではないか。世間にわからぬ略称をふりまわして、それで仕事をしたような気になるのが、政治の通弊なのだ。

ポップ魔



立札

——ちがった、ちがった、ここじゃあない、
あっちのコウノトリの巣のほうだった